

質問 順位	会 派 名	質 問 者		項 目	要 旨	備 考
		議席番号	氏 名			
1	清風雲南	18	石川幸男	<p>1. 「絆」とまちづくりについて</p> <p>2. 行財政改革について</p> <p>3. 市民が主役のまちづくりについて</p>	<p>(1)震災後、最もよく聞かされるようになった言葉の一つ「絆」。人と人がつながり合うことの大切さを再確認するきっかけにもなった。雲南市のまちづくりに「絆」の精神をどう生かされるのか所見を伺う。</p> <p>(2)新年度一般会計当初予算は、目標の「収支均衡」で編成され、「財政非常事態宣言」も解除された。今日に至る「聖域なき」痛みを伴う改革の7年間への所見は。</p> <p>(3)新庁舎建設、市立病院建設など、一連のハード事業が計画されるが、平成 27 年度からの交付税減額を踏まえ財政構造の転換、改革の取り組み方針は。</p> <p>(3)原子力災害に対する防災対策や一連の事業実施に、機構改革の考えはないか。</p> <p>(1)新年度から地域自主組織への支援制度が見直され、補助金は交付金に、地域マネージャーは集落支援員に改称、担う役割も明確に示された。</p> <p>①雲南市内の街部、山間部等、集落間格差の考慮なく、一律の支援制度とすることは、制度の目的に合致しないのではないか。根拠は。</p> <p>②地域の集落存亡の課題を、自己決定・自己責任での位置付けで良いのか。</p> <p>③資料や情報の提供、個人情報・人権との関わり、支援策など、行政との連携をどう考えるのか。</p>	

質問 順位	会 派 名	質 問 者		項 目	要 旨	備 考
		議席番号	氏 名			
				4. 定住環境の充実 について	(1)幅広い住民層を対象にした施策の実施が基本であるが、対象を明確化、嗜好に合う施策実施が人口減少社会に沿う自治体経営である。 「若者定住」の促進は、地域に活気を呼び込み、地域を支える活力を生み出す、施策のポイントである。 ①住んでみたい・住み続けたい・住み続けることのできる住環境、満足度の高い定住促進、環境整備の基本的な考えは。	
				5. 安心・安全のま ちづくりについ て	(1)市立病院建設の基本構想に取り組むにあたり、運営方針、病院機能、診療方針等、基本的な位置付けは。	
				6. 人が輝く教育・ 文化の振興につ いて	(1)全小中学校で新学習指導要領が全面実施される。趣旨を踏まえ、更に特色のある授業が実践されることとなるが、新年度の取り組み方針は。  (2)保幼小中の「夢」発見プログラムに基づく充実計画を伺う。  (3)地域交流センターで行う生涯学習について、行政との意見交換、情報提供など充実を図る連携支援の強化が求められるが、考えは。  (4)地域の伝統芸能、伝統文化は地域で生まれ、地域の使命感で継承されているが、本市の「文化力」の醸成と、活動支援策について、考えは。	
				7. ふるさと産業の 創出について	(1)企業誘致に備える大規模企業団地の整備について、具体的な計画策定に取り組みれるが、整備方針は。  (2)林業の振興について、「たたら」の里山再生特区」が国に指定され、規制緩和等、活かしながら、中心となる「木質バイオマスエネルギー活用事業」が推進される。 ①市民参加型収集システムの構築には、様々な課題が想定される。市民参加の手法、推進方策は。  ②本エネルギー事業に、含水率の問題はあるが、竹林の解決策として、竹の活用が図れないか伺う。	

質問 順位	会 派 名	質 問 者		項 目	要 旨	備 考
		議席番号	氏 名			
				8. 市長の任期について	<p>(3)農業の振興について、現況を踏まえ、雲南市の基幹産業である地域農業の将来ビジョンと、継続可能な農業の確立に向けた、振興方策をどう考えるか。</p> <p>(1)本年 11 月には、議員とともに、速水市長も 4 年の任期を迎えられる。改選期を迎えるにあたり、市長の所見を伺う。</p>	
2	フォーラム 志民	1 1	藤原信宏	1. チャンスを生かす「地域振興と観光誘客」について	<p>(1)今年の雲南市は飛躍を期待する画期的な節目の年である。尾原ダムの完成、高速道路の開通、古事記編纂 1,300 年キャンペーン、たたらの里山特区の指定等々のチャンスを生かすも殺すも市の施策如何にかかっている。</p> <p>①尾道松江線の全線開通を視野に、これらの要素をいかに有機的に結合して、観光誘客、地域振興を図るか。</p> <p>②一般道沿線の寂れ対策も含めて、地域振興のための広域連携、自治体連携強化の取り組みは。</p> <p>③吉田 CB の活性化施設には、市の命運がかかる。供用後、当面は可能な限り行政が関与し経費負担して、全市挙げて誘客を図る仕組みを構築すべきと考えるがどうか。</p> <p>④有料、無料の関所となり、市の中心部に位置する三刀屋木次 IC からの誘客を図る方策は。</p> <p>⑤高速路線バスが高速道路運行にシフトする。急行便の国道 54 号経路を残す交渉努力と、代替策となる雲南市と飯南町を結ぶ広域路線バスの運行を求める。</p> <p>⑥国宝指定された銅鐸を活用した観光戦略、地域づくりの考えは。</p> <p>⑦古事記編纂 1,300 年キャンペーンが一過性の祭りに終わってはならない。冬季の集客対策等を含め、息の長い継続的・通年的な取り組みを求めるがどうか。</p>	

質問 順位	会 派 名	質 問 者		項 目	要 旨	備 考
		議席番号	氏 名			
				2. たたらの里山再生特区について	<p>(1)戦略の3本柱、それぞれの年次計画と予算は。</p> <p>(2)各種計画との整合性はあるか。とりわけエネルギー供給の視点では、一連の森林施業推進を同時に訴え一体的推進を図るべきである。林業施策との整合性はあるか。</p> <p>(3)表題から事業内容が伝わりにくい。PR番組の作成等、積極的な発信を求める。</p> <p>(4)これまでの再生可能エネルギーの計画・推進との整合性はどうか。窓口を一本化して総合的に取り組んではどうか。</p> <p>(5)エネルギー供給に関して、林道整備等の投資が発生する。当面、投資の少ないモデル地区を選定して進めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(6)持続性・効率性から、行政区域を越えた広域連携が効果的と考えるが取り組みを伺う。</p>	
				3. 中期財政計画及び長期財政推計について	<p>(1)普通交付税の一本算定が完全移行する平成32年度には収支不足が12億円となり、このままでは5年後に予算が組めない。対策方針は。</p> <p>(2)中期財政計画に市立病院改築が盛り込まれた。整備計画案は、はなから現在地での建設と現在規模の医療機能維持を前提としている。病院経営の将来像を明確に描いた上で、診療科目・病院規模、並びに総合的見地からの最適位置の決定に議論を尽くすのが先決と考えるがどうか。</p>	
				4. 中長期の財政運営に係る公共施設の見直しについて	<p>(1)観光・保養や文化体育等の類似施設の統廃合を総合的計画のもとに進める時期にきている。計画策定の所見は。</p> <p>(2)掛合町の交流センター建設が先行して進められる。指摘した全体計画策定での位置づけはどうなったか。</p>	

質問 順位	会 派 名	質 問 者		項 目	要 旨	備 考
		議席番号	氏 名			
				<p>5. 教育行政について</p> <p>6. 長年放置された「不動産登記の推進」について</p>	<p>(3)高齢者等施設使用料割引制度を、市内全域の温浴等の施設に統一して採用し、利用者促進を図るように求める。</p> <p>(1)キャリア教育に係る「生きる力の能力育成」について  ①今、子ども達に求めるのはコミュニケーション能力である。野外等での体験活動を年間通じて恒常的に取り入れ、自己肯定感や協調性を高める事が、その能力育成に大きく貢献すると考えるが、所見は。  ②将来設計能力の育成に関して、お金の扱い方や借金、生涯の人生プランなど、「経済教育」の実施検討とキャリア教育の新たな展開について伺う。</p> <p>(2)少子化に伴い廃止される学校や幼稚園の跡利用、活用について基本的方針は。</p> <p>(1)一向に登記が進む気配がない。再度執行体制・方法を整理し、本気で進捗を図られたい。</p>	
3	至誠	9	加藤欽也	<p>1. 安心・安全のまちづくりについて</p> <p>2. 原発について</p>	<p>(1)大震災から一年が経過するが一年を振り返ってみて国、被災自治体の対応についてまた、復興の取り組みについて雲南市に重ねてみての市長の所見は。今後の雲南市での安心安全のまちづくりの取り組みについては教育、福祉施設、高齢者世帯等どのような観点から取り組んでいくのか市長のビジョンを伺う。</p> <p>(2)日が経つと被災地に対するの関心が薄れていくが、今後復興には10年の月日がかかると言われている。今後も継続的な支援が求められるが市の取り組み、例えば学生ボランティアに対する助成、ピンポイントに一定の地域との交流支援などはいくつか、市民団体等の関わり方等について伺う。</p> <p>(1)30キロ圏外への避難先が県レベルで調整割り当てられたが、子供、学生、老人、病人の避難方法は。また、地域は割り当てられたがどんな施</p>	

質問 順位	会 派 名	質 問 者		項 目	要 旨	備 考
		議席番号	氏 名			
				3. 中学校について	<p>設に行くのか、今後避難計画、訓練等伺う。</p> <p>(2)定期点検で停止中の1、2号機、建築中の3号機の稼働時期が将来提示されると考えるが、雲南市の稼働に対するスタンスについて市長の所見を伺う。</p> <p>(1)中学校の生徒が減少しているところがある。適正規模、適正配置について、今後の予定、検討状況について伺う。</p> <p>(2)今春から武道必修化に市教育委員会では柔道が選定された。保護者から安全性に不安の声が上がるが、教員の指導研修、施設整備、安全対策等の対策について伺う。また、柔道着購入に掛る保護者の負担軽減の補助事業は検討されているのか伺う。</p>	
				4. 健康長寿・生涯現役のまちづくりについて	<p>(1)医療と保険の融合施設整備計画が先送りにされたなぜか市長に所見を伺う。</p> <p>(2)団塊の世代が65歳を迎え高齢化が急速に進んでいる。雲南市では必要な施設。多数の市民が近隣他市の施設を利用している。新見市の同様の施設では公設民営で多数の市民が利用。かかりつけ医との連携運営されている。当市も雲南市と同様中山間地に位置し、腰痛、ひざ関節痛に悩まされている方が多いと聞く。関係者の話では、試算はしてはいないが地域活性化と医療費や介護費の軽減につながっているようだ。小学生の水泳教育にも活用され、全国大会に出場する生徒も誕生しているようだ。将来に向け重要な施設なら、まず市内の同様の施設に導入し、環境整備を図るべきと思うが市長の所見を伺う。</p> <p>(3)各種スポーツ、生涯スポーツの各旧町毎の大会が市内全域で多数開催されている。合併後7年が経過したが市全体での旧町対抗の大会の開催等計画できないものか。 市体協のもとにスポーツを通して旧町の交流が盛んになり、市全体が一体化し、健康長寿・生涯現役のまちづくりにつながるのではと考えるが市長の見解は</p>	

質問 順位	会 派 名	質 問 者		項 目	要 旨	備 考
		議席番号	氏 名			
				5. 高速道路整備について	<p>(1) 今月吉田掛合インターまで、来春には中国道に直結するが、開通に伴い7割交通量の減少が危惧されている。54号沿線地域の経済活動に与える影響をどう試算しているのか。また今後の活性化について対策は。検討機関が設置してあるのか。</p> <p>(2) 西日本高速により加茂岩倉PAの整備計画が示された。雲南市として今後のPAの有効活用方法についての所見は。加茂岩倉遺跡の活性化につながるよう市としてPAの整備に係わっていく計画があるのか市長の所見は。</p>	
				6. 道路河川愛護事業について	<p>(1) 市民の協力により事業が展開されているが、市長の所信表明にあるように、全国平均より20年以上の早い高齢化の状況下、事業継続が困難となりつつある。対策について伺う。特に河川浄化事業の除草が特に負担となっている地域が増加している。高齢化による、事業への参加者減少のため事業継続が困難となり、事業を放棄する地域が出てくるのが今後懸念されるが所見を伺う。</p> <p>(2) 除草のための大型機械の導入など市民の負担軽減の早期な対策が求められるが所見を伺う。</p>	
				7. 周辺地域の活性化について	<p>(1) グランドのナイター施設の活用について。 (周辺地域の元気作りに特区を指定して対処すべき) ① 公共料金の統一で利用料が大幅に値上げされて以来 ナイターや体育館の利用が激減していると云う。固定費用が相当にかかっているが使用料を大幅に安くして若者の誘致をはかるべきと思うが見解を問う。</p>	